



熱唱!!

「心ひとつ」に取り組んだ 合唱コンクール

11月7日(金) 本校誠心館で、毎年恒例の校内合唱コンクールが開催されました。今年は校舎の耐震工事で練習場所の制約や騒音のため盛り上がり欠けるのではと懸念されましたが、そんな心配を吹っ飛ばして、きれいなクラスのハーモニーを響かせてくれました。

中でも3年生はどのクラスも一丸となって取り組んできた熱い思いがその歌声に込められていて、今年も優劣つけがたい熱戦となりました。最優秀賞の3年6組が市の連合音楽会に出場しました。

今年も、お忙しい中、多数の保護者・地域のみなさん、東小・津田小6年生の皆さんにご来校いただき、心ひとつに頑張る二中学生の歌声をお聴きいただいたことに心から感謝いたします。有難うございました。



あいさつは心をつなぐ魔法の言葉

広がれ!! 元気なあいさつの輪!



3年生 18歳進路の取り組み

中学卒業後の進路選択が迫る3年生のこの時期に、ほとんどの生徒が高校へ行きたいという意思を持っていますが、高校へ行くことだけが目的になってしまい、高校入学後、目的を失い中途退学してしまう生徒が少なくありません。高校入学はあくまで自分の夢を実現するための通過点であり、そのために18歳になった時の自分の姿を考え、目的意識をもって進路を考えるという取り組みを行っています。大学や専門学校を訪問し、意欲を持って学んでいる学生さんたちの姿から学ばせていただいたり、二中の先輩に来校してもらい、高校のことや就職について、お話を聞かせていただいたりしました。

二中の先輩のお話から 中学生に伝えておきたいこと

高校は厳しいところでもある。授業中座ってられない子や我慢できない子は、3年間続かない。やめている子もたくさんいる。高校は親の金で行っているのだから、やめずに3年間通って欲しい。高校に行って考えたり、気づいたりしたことはいっぱいある。そう思うと、中学校時代は、クラスの子に授業中うるさくしていっぱいめいわくかけたなと思う。

自分は中学校を卒業して就職したけど、中学校の時に、もうちょっと勉強しておけばよかったなと思う。働くにしても、やっぱり基礎学力はつけとかなあかんと思う。みんなの高校の話聞いてたら、高校いいなと思う。高校へ行って成長して、就職ってできるから、高校に行ってもやめずに頑張るって欲しい。

新しい取り組みを始めました!

「聴く」トレーニング

集中力を高める取り組みです!

11月より、1か月のうちの1週間、全校で、コミュニケーショントレーニング(略してコミトレ)として、朝、始業時の10分間を利用して、「聴く」トレーニングを行っています。放送で読まれるまとまりのある文章を聞き取って、細かい数字や名称、文の主旨に関することをクイズ形式で答える、いわゆる日本語のリスニングテストですが、集中力を高めるためのいい取り組みになっています。読写活動とともに、継続して行うことで、「聴く」力を養っていきたいと考えています。

子どもたちの感想から

- ・コミトレは意外に集中力が必要で、いいトレーニングになった。だんだん正解数が増えていった。
- ・早いスピードでメモをとっていくのが難しかったです。読写よりも面白く、雑学が知れるのでまたしたいと思った。

二中へ寄付をいただきました

昭和38年度卒業生のみなさんが、卒業50周年を記念して、同窓会を開催し、会費の一部より、「金64,000円」を本校に寄付して下さいました。50年ぶりに集われ、みなさんが「あの頃」にもどり、楽しいひとときを過ごされたそうです。出席された方々の総意で二中のために使って欲しいと寄付して下さいました。用途を考え、役立てて参りたいと思います。

ありがとうございました!

【二中校区PTA合同研修会・教育条件改善要望集会】

12月2日(火)に二中校区の各校PTAが合同で研修会と教育条件改善要望集会を開催しました。府立貝塚高校の喜納佐千子先生を講師にお迎えし、「このまま持たせて大丈夫?—大人の知らないスマホの世界—」をテーマにお話をして下さいました。携帯・スマホに潜む危険性についてお話いただき、まずは、大人自身がネットの特性を知り、確かな知識と人権感覚を持って子どもをリアルの世界で支えること、子どもとともに確かないい出会いを作っていくことの大切さを教えて下さいました。



